

# もりやま景況調査

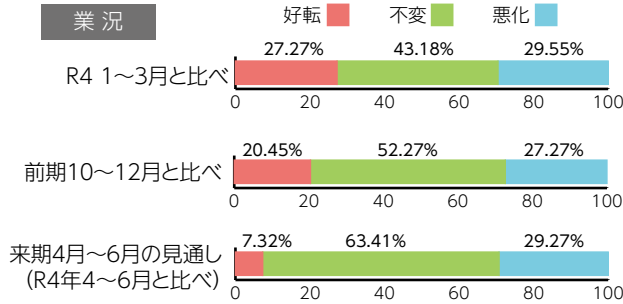
令和5年1月～3月







※ DI (Diffusion Index (景気動向指数) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値



## 業況

前回調査 (令和4年10月～12月期) と比べてやや悪化している。来季は悪化の見通し。

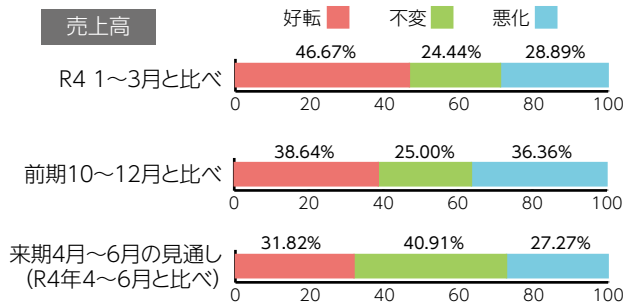








1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 2.3	
	小売業	▲ 27.3	
	製造業	▲ 10.0	
	建設業	20.0	
	サービス業	0.0	
	卸売業	33.3	

※業況 DI (好転－悪化) は今期が▲ 2.3 で前回調査の▲ 2.2 から 0.1 ポイント悪化  
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は▲ 22.0 で、今期より 19.7 ポイント悪化の見通し

## 売上高

前回調査 (令和4年10月～12月期) と比べてやや改善している。来季は悪化の見通し。

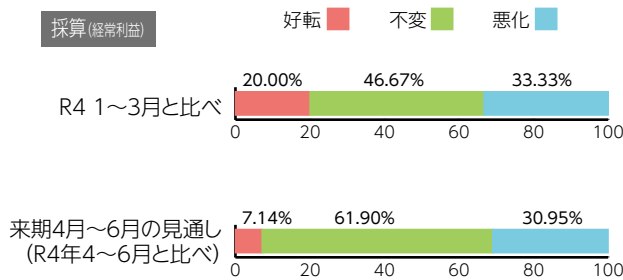








1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	17.8	
	小売業	9.1	
	製造業	0.0	
	建設業	50.0	
	サービス業	9.1	
	卸売業	33.3	

※売上高 DI (好転－悪化) は今期が 17.8 で前回調査の 12.8 から 5.0 ポイント改善  
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は 4.5 で、今期より 13.2 ポイント悪化の見通し

## 採算 (経常利益)

前回調査 (令和4年7月～9月期) と比べてやや悪化している。来季も悪化の見通し。



1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 13.3	
	小売業	▲ 27.3	
	製造業	▲ 20.0	
	建設業	10.0	
	サービス業	▲ 27.3	
	卸売業	33.3	

※採算 (経常利益) DI (好転－悪化) は今期が▲ 13.3 で前回調査の▲ 12.8 から 0.5 ポイント悪化  
来期の見通し DI (好転見通し－悪化見通し) は▲ 23.8 で、今期より 10.5 ポイント悪化の見通し

## コロナウイルス、物価高騰の影響などの意見

- ・電気水道ガスなど社会インフラの値上げによる原材料の高騰は、ロシアウクライナ問題が治まるまで続くのではないかと。(小売業)
- ・コロナの収束が望めるようになってきて客足も戻りつ

つありますが、企業や学校等の大きな宴会は以前と同じようにはされないうです。反面、コロナで離れたパーティの確保が困難な状況です。さらなる工夫をしていかなばと思っています。(飲食業)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

